

## 令和3年度 坂井高等学校 学校関係者評価書

(問) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。</li> <li>・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。</li> <li>・その他</li> </ul>
(意見を伺った方) P T A 会長    同窓会副会長 (2名)                      合計3名
(意見欄)
○学習指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業満足度が前年度から5ポイント以上高くなっており、評価する。</li> <li>・タブレット端末による授業の増加、オンライン授業に期待する。</li> <li>・全体的に良い結果が出ている。更なる努力に期待する。</li> <li>・タブレット導入における教職員の努力を期待する。</li> <li>・授業満足度は前年よりも目標を上回っており評価する。先生方の努力に感謝する。</li> </ul>
○生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶は本当に良くできていると思う。</li> <li>・今年度は感染防止対策を取りつつ概ね学校行事が実施できたことを評価する。</li> <li>・挨拶は良くできているため評価する。</li> <li>・部活動については、教職員の負担軽減のため、学校外の指導者の導入を検討した方が良い。</li> <li>・挨拶は良くできているようだが、大きな声でできるよう指導をしてほしい。</li> </ul>
○進路指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・13.2%の保護者が「進路情報が適切ではない」と回答しているので対応を検討し改善してほしい。</li> <li>・国公立大学の合格者について評価する。更なる向上を期待する。</li> <li>・進路指導全体の取り組みは大変良いと思う。地元企業に就職する生徒数の増加を期待する。</li> <li>・地元企業に就職する人が多いので、良い取り組みだと思う。</li> </ul>
○安全教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症防止対策は良かったと思う。</li> <li>・オミクロン株の感染力はこれまでのものと比べ強いので、更に対策を強化してほしい。</li> <li>・危機対策マニュアルの全面見直しを行っていただきたい。</li> <li>・コロナ対応が大変だったと思うが、もう少しだと思うので、日常の感染対策の取り組みを続けてほしい。</li> </ul>
○専門教科指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得は進路につながるので、指導体制や個人指導を充実させてほしい。2年生の頑張りに期待する。</li> <li>・資格取得については、指導強化の体制づくりが必要である。就職に多大な影響を与えるため生徒を育成してほしい。</li> <li>・資格を一人でも多く取得できる教育をお願いしたい。</li> </ul>

○教育相談

- ・ 生徒の特性に応じた支援は難しいと思うが、教職員の一層の努力を期待している。
- ・ 概ね適切である。生徒に向き合う姿勢に敬意を表する。教育相談は困難であると思うが、一層の努力を期待する。
- ・ 学校では教員との時間が一番長いので、生徒と向き合って良い方向に導いてほしい。

○部活動指導

- ・ 生徒の部活動での成長も大事ではあるが、教職員の負担が大きくなるよう外部指導者を更に増やすとよいと思う
- ・ 概ね適切である。外部指導者の導入を図り、競技力の向上と顧問等の負担軽減を行ってほしい。
- ・ 部活動は団体行動の基礎を作るので、多くの生徒に取り組んでもらいたい。

○魅力発信

- ・ マイスター・ハイスクール事業の取り組みをまとめた通信の発行は評価する。動画の掲載に期待する。
- ・ コロナ禍で実施できなかったこともあるが、感染の収束を捉えて農作物の販売を再開し学校の取り組みを発信してほしい。
- ・ 中学校に向けての情報発信は非常に大切である。更なる充実を期待したい。
- ・ 学校を訪問できない人にも、学校の魅力が伝わる取り組みを期待したい。

○全体（総括）

- ・ コロナ禍で教職員はとても頑張ってくれたと思う。来年度はP T Aも各事業に積極的に参加することを期待する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、更なる学びの発展を期待する。
- ・ 総合産業高校として、地域企業へ就職する人材の増加を期待する。
- ・ 高校卒業後に進学を希望する比率が高まっている。高校を卒業して地元企業に就職するメリットをしっかりと伝えることと並行し、進学希望の実現もしっかりと支援できる体制の強化を要望する。
- ・ 総合産業高校として地域が活性化できる人材を育成してほしい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・ 新年度から1年生を対象に新学習指導要領が始まる。評価の観点が変わること、実際の授業の進め方や評価の仕方も見直しが必要である。これを機に、生徒の授業満足度がより高まるように授業改善を行い、生徒が主体的に学ぶ姿勢を育成する。
- ・ 授業での効果的なタブレットの活用法やオンライン授業での課題等を校内で共有し、教職員全体の授業力アップを図る。
- ・ 進路情報の提供方法について、学校HPをより活用したり保護者との連絡を密にしたりするなど、丁寧に対応していく。
- ・ 年々、進学希望者が増加していることから、地元企業へ就職することのメリットを伝え、進学先を卒業する際に地元企業を選択する意識を醸成したい。また、国公立大学をはじめ進学希望者の進路実現に向けて、指導体制の充実を図る。
- ・ 部活動は外部指導者等を活用し、教職員の負担軽減を図る。
- ・ 2年目となるマイスター・ハイスクール事業の取り組みを充実させる。生徒の活動の様子や学びの成果を積極的に中学校等へ発信していく。事業を通して、地元企業の魅力を知り、地元産業界に貢献できる人材の育成に努める。